

福知山市における内水対策のさらなる強化を求める決議

福知山市は、かねてから由良川氾濫による水害被害が多発し、水害に強いまちづくりに向けて、堤防整備などの由良川治水対策が大きく前進してきたところである。

しかしながら、近年も度重なる水害被害に見舞われ、とりわけ由良川支流河川の樋門閉鎖に伴う内水氾濫が顕著な傾向となっている。

福知山市議会としては、水害被害が少なく、市民が安心して穏やかな暮らしを過ごせることを切に願うものである。

こうしたことから、福知山市においては、治水対策にあたり、特に内水対策の強化に向けて、以下の項目について積極的に取り組まれることを強く求める。

- 1 大江地域や由良川右岸地域など、近年内水氾濫被害が頻発する地域に、排水ポンプ施設の設置及び支援協力を国・府に求めるとともに、市も一緒になって取り組むこと。
- 2 由良川中流部で築堤工事が進む地域は、樋門設置により今後内水氾濫被害が生じることが懸念される。こうした地域での内水排除と被害軽減対策を国・府と一緒に講じること。
- 3 樋門閉鎖や排水機場のポンプ停止による内水氾濫被害の発生が懸念される場合は、住民にすみやかに周知を行うこと。
- 4 市周辺部での内水被害軽減のために、由良川及び支流河川の河道掘削や樹木伐採など、さまざまな手法で、国・府と一緒に内水被害軽減対策を講じること。
- 5 内水対策の強化に向けて、現在の由良川水系河川整備計画の見直しを国に対して求めること。

以上、決議する

平成30年9月28日

福 知 山 市 議 会